

ある はじ
ここから歩き始める

企画 兵庫県

(34分)

作品のテーマは「認知症を共に生きる」です。認知症の親をもつ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしが描かれています。



高齢者が人間として、誇りをもって生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えることを気づかせてくれています。

たようせい そんちょう しょくば
多様性を尊重した職場のコミュニ

じんけん
ケーションと人権 I・II (各25分)

Iでは、「ハラスメントを生まないために」をテーマに、多様化する職場や人間関係の中での様々なハラスメントの芽を摘む為に、よりよいコミュニケーションが重要であることを伝えています。

IIでは「個に向き合い、伝え合う」をテーマに、相手の“多様性”（個）に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることの必要性を伝えています。ショートドラマを通して、どこの企業でもあり得そうな人権課題について考え、その解決のヒントが分かりやすく描かれている作品です。



まも
子どもを守る! (20分)

あんぜん つか かつ
SNSの安全な使い方

中高生に普及している携帯電話、スマートフォンは、便利な反面、使い方を間違えると事件に巻き込まれる可能性があります。本作品は、保護者にSNSの基本知識と子ども、生徒に対してどのように安全な使い方を指導するのかを解説しています。



ふせ こ ぎゃくたい
防ごう子どもの虐待 (25分)

子どもの虐待が深刻な社会問題になっていることを考えさせてくれる作品です。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることが描かれている作品です。



ねずみくんのきもち (12分)

ねずみくんの絵本シリーズの中の『ねずみくんのきもち』を映像化したものです。いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをねずみくんと一緒に学ぶことができます。一人一人が大切な存在であることを感じられる作品です。

